令和７年度 第３回富良野市文化財保護審議会 顛末

と　き　令和７年１２月２日（火）１０：３０～１２：００

ところ　富良野市生涯学習センター 会議室

出席者　委　員：永盛俊行、芝野伸策、石黒誠、篠嶋慎一

　　事務局：澤田所長、泉係長

１．委員長あいさつ

２．報 告 事 項

１）富良野鉄道資料展の開催

期　間：７月 19 日～９月７日　観覧者数：3,830 名　＊R6:1,247 名、R5:2,123 名

今夏開催の同展と持田誠学芸員(浦幌町立博物館)を招いた講演会の概要を説明。また追加で 10 月 18 日～11 月 3 日に開催した企画展「知ろう・語ろう・昔の道具」の概要も報告(683 名)。

２）旧山部駅旅客詰所の清掃・塗装作業(直営)

日　時：９月９日(火)～10 日(水)

鉄道資料展終了後、剥落が目立った屋根の塗装と室内の清掃作業を実施。

３）鳥沼公園湿地林の地下水位調査および毎木調査

日　時：８～１０月　協　力：富良野の自然に親しむ会

乾燥化が著しい鳥沼公園の湿地林保全プロジェクトを今春から取り組む。樹木調査、草本調査、地下水位調査を北海道 e-水プロジェクトの支援、市民の参加協力も得ながら実施。樹木調査ではハンノキが減少傾向にあり、以前と比較して若木も少ないことが明らかになるとともに、乾燥化の指標の一つであるクマイザサの繁殖範囲が広がっていることが判明。地下水位調査は９月からスタートし、３地点に埋設。比較的多量の降雨の場合には水位が上昇するものの、平常時は地表面から 20 ㎝以下、場所によっては 80 ㎝以下で推移することを報告。

＜永盛委員長＞

先般、北海道 e-水プロジェクトの報告会に参加。来年度以降も同プロジェクトに応募したい。調査継続してデータを集め、保全のための手段を検討したい。

４）勇振川温水ため池の未登記地の取り扱いに関する協議

日　時：10 月 17 日(金)　北海道財務局旭川財務事務所　協　力：空知川上流土地改良区

未登記地の所有者確認調査が完了、空知川上流土地改良区のご担当者と北海道財務局旭川財務事務所を訪問、今後の方針を確認した。来春に測量作業に着手、その後必要な手続きを進め、登録申請を進める。申請書は概ねできており、写真の再撮影等の作業を進め準備する。

５）島田家住宅主屋の登録プレート受領

日　時：10 月末

道教委を通じて受領した登録プレートについて紹介。今冬に所有者へ引き渡し予定。

６）富良野市郷土芸能伝習館設置条例廃止のパブリックコメント手続き

日　時：10 月１日～20 日

上記期間中のパブコメで頂戴したご意見とその回答を説明(広報ふらの 11 月号掲載)。

7）埋蔵文化財調査

11 月までに実施した埋蔵文化財調査のうち、以下の主要な調査について報告した。

①住宅団地造成工事(中五区)に伴う所在・試掘調査　4 月 24 日

②蒸留酒製造所建設に伴う所在・試掘調査　8 月 26 日

③道営農地改良事業 老節布 7 遺跡所在調査(再協議) 9 月 3 日

＊その他、開発行為や不動産調査に伴う埋蔵文化財の問合せ８件

＜石黒委員＞

埋蔵文化財と関係ないが、こうした工事に際して生物相の影響に関する意見を当審議会として意見を言う必要はあるか？

＜事 務 局＞

問合せの内容は埋蔵文化財の所在であって当課の回答は埋蔵文化財に限ったものになる。＊天然記念物やレッドリスト記載の生物相に影響を与えそうな開発行為と確認できた場合には、報告することもありうる。

３．当年度今後の事業予定

1）旧山部駅旅客詰所の創建時復元のための資料調査

ＪＲ北海道や道内博物館等に照会中。明治・大正期の類例が道内に２件あり。

11 月 20 日(木)に池田町の利別駅を訪ね、詰所らしき建物２件を実見。JR によれば一方は明治 38 年建造とのこと。いずれも建物形状は旧山部駅旅客詰所と異なる。構内に所在して近づけないので、詳細は不明。またもう１件の黒松内町熱郛駅は大正 11 年建造とのことだが、まだ未調査。JR 北海道の報告を待ちたい。

＜芝野委員＞

転轍機を操作する駅員が詰めた詰所に「旅客」が付くことに違和感があり、一般の方にも分かりにくいと感じ、補足説明が必要だ。

＜事 務 局＞

鉄道黎明期にフラグステーションなるものがあり、乗客がある場合に旗を振って機関車を停車させ、乗車可能な施設があったと聞く。山部駅にあった本詰所は山部停車場時代の明治 33 年に建造・設置の例で、翌年に駅に昇格しているが、設置当初はフラグステーションと同様の機能があったのかもしれない。ただフラグステーションには規模が小さく、旧布部駅(昭和２年開駅)の昭和 29 年建造例も「旅客詰所」と呼称され、正直まだ正確なことは分からない。

2）富良野市郷土芸能伝習館利用休止のための引っ越し準備

令和７年 12 月議会で条例廃止の提案。令和８年３月末で閉館して利用休止。不要物品の廃棄など行った上で、令和８年４月以降に引っ越し作業を行い、伝習館機能を移転する。

・富良野彌栄太鼓保存会：育良会館へ移転、貸館利用

・富良野獅子舞保存会：道具一式を生涯学習センターで保管

3）文化芸術推進基本計画策定に係る当審議会からの意見提出

１月に市民座談会が予定されており、その後、これまでの議論を踏まえて当審議会から文化

財に関する意見を書面で聴取して、担当課のコミュニティ推進課へ送付予定。

＜篠嶋委員＞

文化芸術推進委員会の委員長を拝命している。文化芸術基本条例の範囲がスポーツまで含んでおり、範囲が広すぎて意見聴取が難しい。文化財については本審議会があり、重複しない方がいいのではとの意見もあった。いずれにしても１月の座談会後の意見集約後にご意見いただければ幸い。

４．令和８年度事業計画

【調査・研究事業】

・寺社の什宝什物調査　市街地の寺院を手始めに少しずつ進める

・旧東山発電所調査(継続・聞き取りほか調査) 話者が少なく難航状態

・鳥沼湿地林の地下水位調査、毎木調査(大木調査含む)
富良野の自然に親しむ会や市民の協力、研究者の指導により調査活動を継続

・平沢湿地林の植生分布調査
今年度は調査できなかった。東大演習林内 65・66 林班の固定標準地に 10×10m の調査区を設定してあり、来年度から実施したい。

【保護事業】

・旧山部駅旅客詰所の創建時復元のための建物現況調査
JR 北海道ほか情報収集に努め、復元の参考資料としたい

・旧山部駅危険品庫保護のための情報収集
JR 北海道、富良野市、山部地域の動き・意向に関する情報収集を行い、文化財保護担当部局として、可能な限りできることに取り組みたい

・島田家住宅主屋の保護について

・富良野彌栄太鼓保存会活動場所移転の支援・協力

・国営農地再編整備事業に係る埋蔵文化財所在・確認調査
来年度から富良野南富地区(山部地域)の所在調査から着手予定。場合によっては試掘調査も実施の可能性あり。

【教育普及事業】

・文化財見学会の開催　内容未定

・北海道開発局の地域共創インフラツアー協力
金山ダムを中心としたインフラツアーを企画予定。勇振川温水ため池も見学地候補にピックアップ。

５．令和８年度以降の事業計画について(別紙参照)

添付資料のとおり

６．来年度の予定

３回／年の開催を予定します。

第１回委員会：５月中旬～下旬を予定
議題：令和７年度の事業報告(下半期)、令和８年度事業計画の確認
第２回委員会：８月上旬を予定
議題：上半期の事業報告ならびに文化財視察
第３回委員会：１１月下旬を予定
議題：令和９年度事業計画について、令和９年度以降の事業計画

７．その他

＜永盛委員長＞
情報提供。環境審議会においてメガソーラー設置にかかるガイドライン策定について審議予定で、当審議会委員からもご意見を頂戴するかもしれない。